

For-side.com

2006年度中間決算業績概要

For-side.com Co., Ltd.

2006年6月30日

2006年度上半期業績の予測につきまして、数値確定に時間を要し、発表の時期が大変遅くなりましたことを心より深くお詫び申し上げます。

本資料にて、2006年度上半期業績の概要をご説明させていただきます。

－掲載情報について－

本資料に記載されている内容には、将来の業績見通しが含まれていますが、内部的・外部的リスクによって実際の業績と大きく異なることがあることをご了承ください。尚、弊社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などの不確実性が含まれていることをご留意ください。

～前年同期連結業績との比較～

●連結売上高: 30,765百万円(前年同期比 + 107.8%)

➤昨年6月より欧州itouchの連結子会社化と、当期より金融事業を行っているキャスコ社の連結により、2倍超の伸び

●経常利益: 1,317百万円(前年同期比 + 63.2%)

➤上記連結対象会社の増加により伸びを示す一方、金融子会社の過払い金損失引当金9億円の計上が影響

●当期純損失: 19,445百万円(前年同期比 - 426.1%)

➤主に海外2G事業の急速なライフサイクルの進展によって、子会社の営業権(のれん代)の償却を一括計上したことによる影響

～ 前年同期単体業績との比較 ～

(単位:百万円)

	05年上期	06年上期	前年同期比		主要因
			増減	前年同期比	
売上	2,170	1,492	-678	-31.2%	ライフサイクルで衰退期に入っている2Gコンテンツ事業から3G事業に移行する期間のため、売上が減少
営業利益	-23	-1,166	-1,143	-465.2%	マスターライセンス事業への先行投資4億円
経常利益	129	-1,022	-1,151	-892.2%	グループ会社の管理・運営コスト5億円
当期純損失	-2,505	-21,808	-19,303	-766.9%	海外子会社の営業権償却による 投融資評価損

～ 前年同期連結業績との比較 ～

(単位:百万円)

	05年上期	06年上期	前年同期比		主要因
			増減	前年同期比	
売上	14,806	30,765	15,959	+107.8%	欧州itouch/ キャスコ社の取得
営業利益	555	1,317	762	+137.2%	過払い金の引当繰入 9億円
経常利益	807	1,317	510	+63.2%	
当期純損失	3,696	19,445	15,749	-426.1%	グループで2G事業の 整理を実施したことによる 営業権の償却

特別損失 21,797

(単位:百万円)

445 フォーサイド : 2G向けコンテンツの撤退に伴う事業整理損。

511 キャスコ(金融) : 利息返還損失。

773 リストラクチャリング(韓国 Widedfos 463 / itouch 310) :
海外子会社における経営陣の刷新及び従業員のリストラクチャリング。

7,696 Zingy(米国) :

コンテンツ・プロバイダーの企業価値評価の低下傾向に加え、これまでプラットフォームのサービスを提供してきた携帯事業者が、自社運営に切替えを決定したため、事業機会の損失として営業権と無形固定資産の商号を償却。

11,904 itouch(欧州) :

複数の売却入札価格から時価企業価値を算出し、営業権を償却。

466 その他

～前年度上期連結業績との比較～

単位:百万円

		日本	北米	欧州	アジア	連結
'06年上期	売上高	12,531	4,953	10,090	336	30,765
	営業利益	1,513	83	281	-139	1,317
'05年上期	売上高	8,033	2,565	3,678	775	14,806
	営業利益	861	165	87	-81	555

* 連結は、消去又は全社を削除後の数字

- 日本においては、キャスコ社の取得により売上・利益とも大幅に増加。
- 北米での事業は堅調に推移したものの、B2C事業の広告に先行投資したため利益の減少。
- 欧州はitouchの事業拡大で、売上・利益とも大幅な伸び。
- アジアは、2Gコンテンツの衰退による売上・利益への影響と事業の整理により、売上・収益とも減少。

～前年度上期連結業績との比較～

単位:百万円

	2006年度10月度上半期				2005年度10月度上半期			
	コンテンツ	MR	金融	連結	コンテンツ	MR	金融	連結
売上高	19,062	3,802	7,902	30,765	8,402	6,404	-	14,806
営業利益	400	-497	1,962	1,317	173	480	-	555

* 連結は、消去又は全社を削除後の数字

* MR: マスターライツ

- コンテンツ事業は、欧州itouchの事業拡大が売上に大きく貢献するが、2G事業の衰退並びに3Gコンテンツ事業への先行投資によって収益は減少。
- マスターライツ事業は、音楽や映像コンテンツへの先行投資として、広告宣伝費4億円を先行投資したため利益が微減。
- 金融事業では、キャスコ社の取得により売上・利益とも大幅に増加。

～通期連結業績前回予測との比較～

単位:百万円

	06年度10月期 通期前回予測	06年度10月期 通期修正予測	増 減	変動率
売上高	50,000	60,000	10,000	+20%
経常利益	4,000	3,500	-500	-12.5%
当期純損失	-	19,500	-19,500	-

要因:

海外子会社itouch(欧州)およびZingy(米国)の売却プロセスが延びている現状に鑑み、当社は今期の決算期変更により事業年度を変則的に14ヶ月としておりますが、前回予測した対象の12ヶ月に合わせ、売上高を600億円、経常利益を35億円に修正いたします。

上記に伴う経常利益増加の予想をする一方、キャスコ社過払い引当の影響を加味し、業績の修正をいたします。

～通期連結エリア別業績～

単位:百万円

2006年度10月期通期予想					
	日本	北米	欧州	アジア	連結
売上高	28,500	6,900	24,200	400	60,000
経常利益	3,500	0	1,200	-150	3,500

* 連結は、本社及び持株会社の管理部門に係る費用等10億円削除後の数字

- 日本は、引続き金融事業による収益と興行事業による収益が堅調に推移するものと推測。
- 北米には9月までZingyの実績予想を盛込む。B2C事業に向けた先行投資を実施したことにより、利益は微増を見込む。
- 欧州には、9月までitouchの業績予測を盛込む。同社の事業拡大が大きく貢献するものと予測。
- アジアでは、2Gコンテンツの衰退と事業の整理によって、売上・利益とも減少するものと予測。

～通期連結セグメント別業績～

2006年度10月期通期予想				
	コンテンツ	MR	金融	連結
売上高	32,850	12,000	15,150	60,000
経常利益	1,000	500	3,000	3,500

* 連結は、本社及び持株会社の管理部門に係る費用等10億円削除後の数字 * MR: マスターライツ

- コンテンツ事業は、欧州itouch社の事業拡大が売上に大きく貢献するが、2G事業の衰退並びに3Gコンテンツ事業への先行投資によって、収益面では減少を見込む。
- マスターライツ事業では、オン・ザ・ラインの大型イベントを見込んでいるものの、引続き音楽や映像コンテンツへの先行投資により、利益は減少すると予測。